

# 令和3年度 東北医科薬科大学 高大連携事業に係る公開授業の開講について

- ・講座名：「高校生のための医学・薬学」
- ・日時：令和3年8月21日（土）10:00～16:00
- ・場所：東北医科薬科大学 小松島キャンパス 中央棟2F 2A講義室
- ・対象：高校生 ※定員90名（先着順）
- ・受講料：無料
- ・申込期間：令和3年8月6日（金）まで
- ・申込方法：氏名、高校名、学年、住所を

<定員に達しました> 申込み受付を終了いたします。  
お申し込みいただきまして、ありがとうございました。

- ・受講を考えている皆さんへ

講義では、薬学部・医学部それぞれの担当教員が専門分野について皆さんに分かりやすく解説いたします。人間とその生命にかかわる学問である薬学・医学に興味・関心のある方は、ご参加ください！！

<1時間目> 10:00～11:10 担当者：薬学部 教授 村井 ユリ子

授業テーマ：「上手に使おう、薬とサプリメント ―葉酸を例に―」

授業内容：薬学には薬を創り出すための研究領域と、薬を上手に使うための研究領域があります。私は後者のお話をいたします。これまで薬を一度も飲んだことがない人はいないと思いますが、カプセルや錠剤など、形は同じように見えても薬とサプリメントには異なる点があり、それを知って使うことがポイントです。健康関連情報があふれている中から、どうやって正しい情報を得ればいいのでしょうか。妊娠初期の胎児の神経管形成にとっても重要な役割を果たす「葉酸」というビタミンを例に、考えてみましょう。

<2時間目> 11:20～12:30 担当者：医学部 教授 赤井 裕輝

授業テーマ：「大切な栄養素『ブドウ糖』の体内調節の仕組みと糖尿病」

授業内容：皆さんはブドウ糖を見たことがありますか？ 食品スーパーには売っていません。理科の実験室の試薬瓶の中の白い粉として見たことがあるかもしれません。ブドウ糖は甘い砂糖の一種で、人の体にとってとても大事な栄養素です。ブドウ糖を人体はどのように利用しているのでしょうか。うまく利用できない状態の代表が糖尿病です。糖尿病になると体はどうなるのでしょうか。研究者はどのようにして糖尿病を解明してきたのでしょうか？わかりやすくお話いたします。

<3時間目> 13:30～14:40 担当者：薬学部・准教授 若松 秀章

授業テーマ：「有機金属化学と医薬品合成」

授業内容：天然から十分な量を得ることが出来ない医薬品は化学合成によって供給されています。その際、これまでに知られている合成法を駆使しますが、近年その合成効率を飛躍的に向上させた合成法として有機金属化学を応用することが挙げられます。今回の公開講座では有機金属化学の歴史と現在における位置づけ、医薬品合成との関わりなどについてお話します。

<4時間目> 14:50～16:00 担当者：医学部・教授 鈴木 昭彦

授業テーマ：「本当に怖い？ 乳がんの話」

授業内容：かつては不治の病だった「がん」も医学の進歩に伴い治る病気になったと言われていますが、有名人が「がん」と戦う姿が報道されればやはり怖い病気かと多くの方が心配します。本当のところはどうなのか。乳がんを例として、がんという病気、がんの診断、がんの治療について勉強しましょう。

《問い合わせ・申込み先》

担当部署：東北医科薬科大学 学務部教務課

E-mail：k-kyoumu@tohoku-mpu.ac.jp